

異文化体験はどのような影響を体験者にもたらすのか

研究員 渡辺英雄(写真左)

林佳祐(写真右)



今年度、私たちは「異文化体験を行うと体験者にどのような変化があるのだろうか」という問いをたて、大学生とサッカー選手に焦点を当てた2つの研究を行った。

(1) 大学生の短期異文化体験と異文化コミュニケーション能力、キャリアビリーフ

この大学生を対象として研究では短期間の異文化体験が体験者の異文化コミュニケーション能力とキャリアビリーフにどのように影響を与えたかを調べた。現在、日本では日本から海外に出ていく長期留学者が減少傾向であり、短期留学者が増加傾向にある。先行研究で、外国語能力を高めたければ、長期留学が効果的であることはわかっている。では短期留学にはどのような効果があるのか疑問に思ったのである。アンケートと半構造化インタビューによる調査により、短期間の異文化体験であっても、異文化コミュニケーション能力における自文化と他文化を理解しようとする「態度」と自文化、他文化に関する「知識」は向上することがわかった。また、体験者は異文化で出会う人々の影響でより広い視野で自身のキャ

リアについて考えられるようになった。

(2) サッカー選手の異文化体験とアイデンティティ、異文化コミュニケーション能力、キャリア形成

この研究では海外移籍に伴う異文化体験はサッカー選手にどのように影響するかを調査した。プロサッカー選手に関する研究はこれまで行われてきたが、海外移籍がどのように選手に影響するかについてはあまり研究が行われていない。平均引退年齢が26歳であるサッカー選手にとってキャリア形成はとても重要なことである。本研究では、海外移籍に伴う異文化体験がキャリア形成に大きな影響を与えるケースが見つかった。また異文化体験が職業的アイデンティティや異文化コミュニケーション能力にも大きく影響を与えることがわかった。

(3) 今年度の研究からの示唆

異文化体験は異文化コミュニケーション能力の向上に寄与するだけでなく、キャリア形成やキャリアビリーフに大きく影響することがわかった。キャリア形成は生き方に大きく影響すると考えられる。そして、これは大学生にも、社会人でもあるサッカー選手にも当てはまった。また短期間であってもキャリアについての考え方に影響した。本研究の成果が一人でも多くの人にとって助けとなることを願う。